

1 取組名

摘花された花たちの再利用～天然色素から生まれるポップ和紙の新たな挑戦～

2 実施団体

団体名：岩手県立遠野緑峰高等学校 草花研究班

住 所：〒028-0541 岩手県遠野市松崎町白岩 21-14-1

3 取組内容

(1) 概要

ポップの蔓の廃材を利用した和紙の商品化に向けて、花の廃材を利用した染色・媒染方法を確立し、より鮮やかに和紙を染めることに成功し、摘花された花の有効利用に繋げた取組。

(2) 詳細

- ① 摘花により利用されずに捨てられる草花を利用し、ポップの蔓の廃材を原料にしたポップ和紙を、草木染めで染色した取組。
- ② 染色実験を繰り返し、酸とアルカリの作用を解明することで、より鮮やかに和紙を染めることに成功した。さらに染色液を抽出するときの花の種類や品種、さらには花の色まで特定し、摘花された花の有効利用につなげた。
- ③ 7年間にわたる取組により、継続してポップの蔓の廃材を利用して和紙を作成し、和紙に色を染めることでアイテムを増やしてきた。

(3) 取組のアピールポイント・特徴・効果

- ① 花の廃材を利用した染色・媒染を確立し、より鮮やかに和紙を染めることができるようになるとともに、摘花され捨てられる花の有効利用が可能となった。
- ② 和紙に色を染め、商品のアイテムを増やすことで、商品の選ぶ楽しさを提供しており、ポップの農家の農閑期の産業支援になることが期待されている。



1 取組名

おおたオープンファクトリー

2 実施団体

団体名：おおたオープンファクトリー実行委員会

（事務局：一般社団法人 大田観光協会）

住 所：〒144-0035 東京都大田区南蒲田 1-20-20 大田区産業プラザ 2 階

3 取組内容

（1）概要

産業振興、観光振興及び後継者確保のため、地域の企業や団体と連携し、大田区に集積する多くの町工場を1年に一度公開し、ものづくり体験等を提供することにより、ものづくりのまち大田区をアピールする取組。

（2）詳細

- ① 普段は見学者を受け入れる環境に無く、内部を見ることができない工場を、1年に一度だけ、一斉に公開する取組。
- ② 商店街・企業・教育機関が関係団体として企画参加し、ものづくりのまち大田区をアピールする地域を巻き込んだ取組となっている。
- ③ 産学官が連携し、地域のブランディングを図る取組が独創的として評価された。

（3）取組のアピールポイント・特徴・効果

- ① 工場を公開したものづくり体験の提供の他、地域の商店街と連携したイベントの開催や、地元専門学校の授業プログラムとしての役割も果たす等、独創的で地域を上げた取組となっている。
- ② 参加したことをきっかけにもものづくりに興味を持ち、大田区の企業に就職した例も生まれている。
- ③ 平成24年より継続して開催され、平成30年度には全国から約4,000人の来場者があり、大田区の認知度向上につながっている。



1 取組名

「飛驒の匠」技能育成プロジェクト～技能開発委員会による若手、後継者育成の取組～

2 実施団体

団体名：協同組合飛驒木工連合会

住 所：〒506-0032 岐阜県高山市千島町 900-1 飛驒・世界生活文化センター内

3 取組内容

(1) 概要

家具産業及び若年技能者の育成のため、地域の企業間で連携し、技能講習会の実施、技能検定の奨励、ものづくり体験教室の実施等を行う取組。

(2) 詳細

- ① 飛驒木工連合会内の技能開発委員会を中心とし、地域の企業が連携して、技能の伝承、技能者の育成を図る取組。
- ② 各企業の若手社員を対象とした技能開発講習会を毎年6回～10回開催すると共に、技能検定試験の重要性を啓発する活動、地域で実施する技能検定試験職種を増やすための委員会メンバーによる実技研修等を実施してきた。
- ③ ものづくり体験教室の実施、県立の家具専門校に対する講師派遣などの取組も行われており、地域貢献や地域活性化に資すると評価された。

(3) 取組のアピールポイント・特徴・効果

- ① 委員会の活動を通じ、技能の伝承、技能者の育成を組合として実践することにより、企業間の壁を越え、連携して飛驒の家具産業の発展のための技能者の育成を行った。
- ② 多くの職種で技能検定試験が実施されたことにより、幅広い技能を習得した技能者の育成が図られた。会員企業においても、平成8年の技能開発委員会発足当時200件程度であった技能検定資格取得数が、500件を超えた。
- ③ 県立の家具専門校で学生に対する指導を行い、その学生が地元就職することによって、技能伝承や若年人材の確保が進むようになった。



1 取組名

各務原にんじんを使ったお菓子・料理の商品化プロジェクト
～地域産品を地域のものづくり産業と大学が力強くサポート～

2 実施団体

団体名：各務原人参ブランド推進連絡協議会
住 所：〒504-8555 岐阜県各務原市那加桜町1丁目69番地

3 取組内容

(1) 概要

各務原にんじんのブランド化に向けて、自治体、農業協同組合、商工会議所、大学など多くの団体が連携し、洋菓子、パンなどの商品開発、メニュー開発、料理教室及びコンクールなどを行う、地域をあげた取組。

(2) 詳細

- ① 農業協同組合がにんじんの提供、大学はレシピの考案と栄養価の算出、商工会議所は事業者への働きかけや協力依頼、自治体は商品の販売などの広報活動と、産学官がそれぞれの強みを活かした役割を担って連携した取組。
- ② 各務原にんじんのブランド化に向け、大学生が考案したレシピの商品化を行う他、小学校等におけるにんじん給食の提供及びにんじん出前事業、中高生に対するにんじん料理教室の実施、各種コンクール開催等の取組を行っている。
- ③ 大学生が考案したレシピの商品化や料理教室、コンクール等での、プロの技能者からのアドバイスが、若い世代にはよい刺激となると同時に、技能者側にとっても、教えるという体験が、技能向上の良いきっかけとなっていることなどが効果的な取組として評価された。

(3) 取組のアピールポイント・特徴・効果

- ① 学生にとっては、自分で考案したレシピの商品化が良い経験になると共に、技能面での学びや今後の就職先を考える上での、一つのきっかけとなっている。
- ② 大学生が考案したレシピの商品化や料理教室、コンクール等の他にも、にんじん収穫体験（小学生・高齢者）、にんじん子ども食堂、レシピ本の制作・配布などの幅広い活動が行われており、特産品の普及・啓発、ブランド化につながっている。



1 取組名

地域と連携した窯芸活動

2 実施団体

団体名：大田市立第三中学校

住 所：〒694-0302 島根県大田市水上町福原 601

3 取組内容

(1) 概要

60年にわたり、地場産業である石州瓦の企業と連携して、中学校の敷地内にある登り窯にて窯芸を行う取組。学校の生徒、卒業生、PTAが一体となって地域の技能の伝承及び普及を行っている。

(2) 詳細

- ① 地域と連携した特色ある教育活動の一つとして、窯芸活動を60年にわたり継続的に実施している取組。
- ② 窯芸活動のうち、「素焼き」、「本焼き」は学校に泊まり込みの合宿となるため、卒業生や保護者、旧職員も参加して行われている。
- ③ 地場産業として、石州瓦を生産している地元企業の指導による作陶を通して、地場産業を理解する取組が効果的であるとして評価された。

(3) 取組のアピールポイント・特徴・効果

- ① 60年の伝統があり、素焼き、本焼きを手伝う保護者もほぼ体験者であり、親子二代にわたって、一生思い出に残る教育活動になっている。合宿の日には、体験者である卒業生などが集まり、地域に住む人たちの絆づくりにもつながっている。
- ② 生徒たちは、自分の作品だけでなく、公民館活動で作られた陶器や保育園の園児が作った陶器なども責任を持って焼き上げており、達成感や地域で役に立っているという実感を得ることができている。
- ③ 社会貢献活動として、平成9年から平成24年までの15年間に作られた陶板作品は石見銀山トンネル付近に展示されて、観光客の目を楽しませている。平成29年度にはミクロネシア交流事業(文科省)による交流、生徒と窯芸活動も行い、作品をミクロネシアに届けた。



1 取組名

そうめんプロジェクト

2 実施団体

団体名：長崎県立島原農業高等学校

住 所：〒855-0075 長崎県島原市下折橋町 4520

3 取組内容

(1) 概要

自治体、長崎県の経済団体などの支援を受けて、島原農業高等学校と企業が連携して、「島原手延べそうめん」の知名度アップを図るなど、地域資源活性化に向けた産学官連携プロジェクトの取組。

(2) 詳細

- ① 長崎県立島原農業高等学校と地域の手延べ麺メーカーが共同で、地域の特産品である「島原手延べそうめん」に地域農産物を取り入れた商品開発を継続的に実施している取組。
- ② 高校生が「島原手延べそうめん」の歴史やゆで方などを英訳し、商品のパッケージに記載するなど、地元の特産品を外国人観光客へ広告する活動も行っている。
- ③ 島原農業高等学校と企業が連携して、「島原手延べそうめん」の知名度アップに向けた製品開発を、継続的に行っている点が評価された。

(3) 取組のアピールポイント・特徴・効果

- ① 平成21年度以降の継続的な商品開発により、島原の歴史、自然や文化をイメージできる「島原らしさ」をもち、安心安全の優れた特産品であることを島原市が認める「しまばらスペシャルクオリティ」に認定され、ホームページでも紹介されている。
- ② 地域の手延べ麺メーカーへの職場体験学習も行っており、生徒に伝統的な手延べ麺の体験をさせることで地元の製麺業に目を向けるなど、地元の業界への就職につながっている。



1 取組名

高校生・大学生と中小企業の交流企画行事「スマコマながさき小型モビリティコンテスト」による後進若年技能者育成への取組

2 実施団体

団体名：信栄工業 有限会社

住 所：〒850-0961 長崎県長崎市小ヶ倉町3丁目81番地2

3 取組内容

(1) 概要

『坂の街』長崎における、小型モビリティカーの製作コンテスト（「スマコマながさき小型モビリティコンテスト」）を通じた、高校生、大学生及び中小企業間のものづくり交流の取組。

(2) 詳細

- ① 電動車両小型モビリティカーを製作し、その性能を競うコンテストを開催する取組。小型モビリティカーを製作する高校生・大学生に、地元企業が支援を行い、学生と社会人が、コミュニケーションを通じて同じ目標に向け協力しあえる競技として、平成26年から毎年開催されている。
- ② コンテスト参加をきっかけとして、若い人材の新しい技術取得を促すことや、世の中にある技術と製品を結び付けることで、将来的に多くの地域課題につなげていくことを目指している。
- ③ 『坂の街』長崎に「電動手すり」の設置などを行い、地域に貢献。そのほか、「階段昇降アシスト手すり」など、地域特性に応じた製品の開発を手がけている点も評価された。

(3) 取組のアピールポイント・特徴・効果

- ① コンテスト参加の高等学校、大学の各チームが小型モビリティカーを製作する過程では、地元企業から部品の提供や技術面の支援を受け、学生と地元企業との接点が生まれる有意義な機会になっている。
- ② コンテストは、長崎の若者が長崎の中小企業に就労することや、地域の活性化に寄与している。



1 取組名

山鹿灯籠の技術・技法の継承、後継者の育成

2 実施団体

団体名：山鹿灯籠振興会

住 所：〒861-0501 熊本県山鹿市山鹿 1606-2

3 取組内容

(1) 概要

和紙工芸の極致とも評されている山鹿灯籠に関する技術・技法の継承、後継者の育成及び新しいライフスタイルに合わせた商品の開発を地域、自治体と連携しながら進め、伝統技能の継承と地域活性化を行う取組。

(2) 詳細

- ① 山鹿灯籠の製作従事者を対象とした講習会や、山鹿市と連携した「山鹿灯籠製作体験教室」、山鹿市内の小中学校を対象とした「児童・生徒に対する伝統的工芸品教育事業」等を実施する取組。
- ② 山鹿灯籠の魅力をより広く周知し、また職人の安定的収入につながるように、紙の軽さを活かしたモバイルなど、現代のライフスタイルにあった新製品の開発を行っている。
- ③ 現在の灯籠師9名のうち5名が当教室の出身者であり、後継者の育成に大きく寄与していることが評価された。

(3) 取組のアピールポイント・特徴・効果

- ① 講習会の実施により高度な技術・技法を会員で共有し、振興会全体のレベルアップと次世代に対する技術継承につなげている。
- ② 「山鹿灯籠製作体験教室」は34年前から継続的に実施されており、現在の灯籠師のうち5名が当教室の出身者であるなど、後継者の育成に大きく寄与している。
- ③ 小中学生を対象とした「児童・生徒に対する伝統的工芸品教育事業」は、平成28年度から毎年実施されており、600人を超える生徒が参加している。

